

令和5年度 事業報告

1 概 要

令和5年度のシルバー人材センター事業運営は、会員の高齢化や企業における雇用の延伸などもあり、事業実績などに大きな影響が出ました。

特に、屋外作業に携る会員が、令和4年度の618人から21人減少し597人となったため、草刈りや草取り作業、雪囲い作業などに影響を及ぼしました。また近年まれにみる小雪で除雪業務がなく、事業実績が大きく落ち込む結果になりました。

5年度は、就業开拓員による事業所訪問を実施し、シルバー人材センターのPRや、考えをお聞きする機会を作りました。また、女性会員の拡大を図り、会員同士のつながりを深めるために、女性部会を立ち上げ、6年度に向けて準備をすすめました。さらに退会者を抑制するために、ゴールド会員制度について検討しました。

以下令和5年度の主な事業について報告いたします。

(1) 事業実績・就業実績

契約金額総額は、3億9,223万8千円で前年度比2.3%、912万円の減になりました。請負・委任業務は3億2,685万7千円で前年度比4.6%の減、派遣業務は6,538万1千円で前年度比11.4%増でした。発注先でみると、公共受注が1億1,174万2千円で、前年度比1.6%の減、民間事業所受注が、2億3,824万9千円で前年度比0.8%の減、一般家庭受注は、4,224万7千円で前年度比11.5%の減になりました。

就業延人員は、78,813人で前年度比7.4%、6,306人の減になりました。

2年前と比較すると、契約金額で9.2%、3,079万1千円の減、就業延人員で14.6%、13,424人の減になりました。人口減少などの影響が如実に表れ、年々厳しさを増している状況です。

区 分	5年度	4年度	3年度	4年度比較
実績の総額	392,238千円	401,357千円	423,028千円	▲2.3%
就業延人員	78,813人	85,119人	92,237人	▲7.4%
就業実人員	878人	907人	953人	▲3.2%

(2) 就業機会の拡大

発注者の要望に応えるため、「障子張り講習会」を2回、「雪囲い就業者技能講習会」「お掃除をもっと楽しむための講習」を開催しました。また、就業开拓員による就業先等の14事業所を訪問し、就業機会の拡大に取り組みました。福祉施設では、直接利用者に関わらない業務であれば会員がお手伝いできるとの提案などを行い、逆に、こんなことができないかという相談を受ける機会になりました。

(3) 会員数の拡大

令和5年度当初会員数は1,126人でしたが、年度中の入会者が121人、退会者が113人で年度末の会員数は1,134人となりました。入会説明会だけではなく、退会者抑制のため、理事会でゴールド会員制度について検討し、令和6年度から取り組むこととしました。また、入会説明会に出なくても、いつでも入会できるようにシルバー人材センター紹介DVDを作成し、令和6年度からは随時入会できる体制を整えました。

(4) 普及啓発活動の推進

十日町市、津南町の全世帯に年2回の広報誌「シルバーだより」と10月に独自チラシを全戸配布しました。また、年4回新聞チラシの折り込みを行いました。ホームページは26,819件のアクセスがあり、「最新就業情報」が8,225件でアクセス数が最も多くなりました。「お仕事を頼みたい方」は3,488件のアクセス数でした。

(5) 安全・適正就業の推進

事故発生件数は、傷害事故のみ6件で賠償事故はありませんでした。前年度より7件減少になりました。安全パトロールにも力を入れていたところですが、注意喚起をさらに徹底していく必要があります。

7月の「安全・適正就業研修会」のほか、地域ごとに「刈払い機使用安全講習会」「雪囲い安全講習会」「管理業務従事者接遇マナー講習会」「地域別研修会」なども開催しました。また、昨年度に引き続き県理学療法士会のご協力をいただき、高齢者が安心・安全に働くために「運動機能測定と個別指導会」も実施しました。

派遣事業では、衛生委員会を立ち上げ、会員代表から毎月集まっていたいただき、安全就業などについて協議いただきました。

(6) 組織体制の強化と財政基盤の安定化

事業運営に大きくかかわる「補助金確保」のため、十日町市長・津南町長へ助成依頼を行いました。今後も運営の基本となる財源確保や適正執行に努めます。

(7) その他

会員向けの「スマホ教室」「親睦旅行」なども実施しました。看護専門学校臨地実習への協力や中学校総合学習でのシルバー紹介などでもPRを行いました。また、会員の健康増進と会員拡大を目的に「笑いヨガ」や「健康体操」にも引き続き取り組みました。